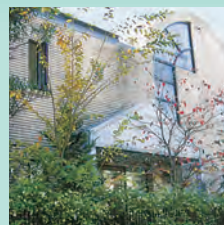
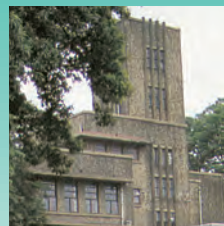


SUGINAMI MACHI DESIGN PRIZE 2010

杉並「まち」 デザイン賞



第10回 ドキッ！発見まちの「顔」

選考経過

- 募集対象
杉並区の魅力的な景観づくりに貢献している建物・地域活動などです。
- 募集期間
2009.10.21 ~ 2010.6.10
- 応募・推薦件数
17件
- 選考会
2010.7.28 (現地調査含む) 開催



西郊ロッチング

●荻窪三丁目

所有者のお話

●昭和5年、現在は数寄屋風の旅館となっている本館を創業。7年後に青銅のドーム屋根を掲げた新館をオープン。どちらも内部は当時珍しいモダンな調度や室内電話を備え付けた全室洋間の高級下宿。以来、この地の風景に溶け込み昭和の姿を継承し初代の斬新な着想に脱帽しつつ今後も更なる歴史を重ねていけたらと思います。

選考委員

河野進 (建築家、杉並区まちづくり景観審議会委員)

●荻窪駅から中央図書館に向かう街角に建つ、緑青色のドーム屋根と黄土色の塗り壁が印象的な建物です。昭和6年築の和風旅館と昭和13年築の洋風下宿が一体になっており、地域のランドマークとして親しまれています。周辺には、旧近衛邸の萩外荘や旧角川邸などが散在し、歴史のある建物や屋敷林が残る緑豊かな地域です。「大田黒公園周辺地区」として地区計画制度が導入され環境を守り、美しい景観を積極的に作り出していくためのルールが定められ、散策路やサインなどの整備も進められています。この建物は、昭和初期に発展した住宅都市杉並のモダンな風情を今に伝える貴重な建物であり、地域の資産です。



メール・ド・ラベイク

●天沼三丁目

所有者のお話

●「南仏の別荘」をテーマに関係者で侃々諤々の話し合いを重ね、完成まで二年の月日がかりました。通り沿いには蜂蜜の採れる植物を中心に10種類以上の植物を植え、屋上や3階テラスも緑化しました。荻窪教会通り商店街の癒しの空間として、地域の皆様と共に時を重ねていきたいと思っています。

選考委員

大倉素子

(カラーコーディネーター、杉並区まちづくり景観審議会委員)

●シンプルでモダンな白い外壁に、優しいベージュに塗り分けられた外階段がさりげないアクセントになっています。看板は目立ちませんが、正面にガラスを広く配し、通りから商品ディスプレイが見えるようになっているため自然に店内に誘われます。このお店の商品「はちみつ」の蜜源に因んだアカシア等、豊かな植栽が商店街に潤いと自然の彩り、季節感を与えてくれます。



浜田山の家

●浜田山三丁目

所有者のお話

●この建物は、建築設計事務所アトリエハルのアトリエ兼住宅となっております。設計事務所として街並みに貢献できるよう、緑豊かに街に開き、関わり混じり合う様な空間・風景を目指しました。仕事場とも生活の場ともいえない曖昧な空間を多くした事で、奥行き感と深みが創りだせたと感じています。

選考委員

津田裕子 (女子美術大学芸術学部教授)

●街路と住宅が緑によって、見事に融合しています。道路側のオープンスペースが開放的で、建物の壁・ドア・窓の工夫で中が見えかくれし、考えられた空間と動線がとても自然です。街を歩いていて、ふっと立ち止まり、ひととき緑のシャワーを浴びた様な、気持の良さを感じるお住まいです。



洋館&ヒマラヤ杉

●松庵三丁目

所有者のお話

●関東大震災で焼け出された義父母は、西荻に地を求め、この洋館を建て、庭を造った。1946年私は結婚を機にこの家に住む。戦争中、鉄の家紋つきの門は供出され、門はなく、台風の際にルーバー窓の羽が落ち、拾い集めた。庭のヒマラヤ杉は駅から見え、登れば東京タワーも見えた。爾来65年、家庭すべてに愛着を持つ私は、一生懸命大切にしている。

選考委員

大嶋信道 (建築家)

●大谷石の塀と門柱のある入口からのアプローチには、赤松の大きな木がそびえ、その奥に、赤いフランス瓦葺きの背の高い2階建の洋館が見えます。壁は淡いピンク色のモルタル洗い出し仕上げで、薄い灰色の胴蛇腹のアクセントがあり、白くペンキの塗られた上げ下げ窓の外には、開き戸式の錠戸が付いています。玄関ポーチの欄間に、美しいステンドグラスが嵌められた、この建物の雰囲気は、杉並の住宅地の歴史と風格を感じさせます。

SUGINAMI MACHI DESIGN PRIZE 2010

柏の宮公園の田んぼ

●区立柏の宮公園内

受賞者のお話 (柏の宮公園くらぶ自然の会 代表)

●この度は私たちが柏の宮公園での、みどりのボランティア活動の一環として2004年秋の公園開園以来(準備は開園以前から)取り組んできた、「公園の田んぼ」(でのおこめ作り)が長い伝統のある区の「まち」デザイン賞をいただくことになり、会員一同大変に嬉しく、また誇らしく思っております。今後とも更に精進努力してまいりますのでよろしくご願ひ申し上げます。

選考委員

有吉玉青 (作家)

●杉並区に田んぼがあるなんて! なんという楽しい驚きでしょうか。選考会に出かけた日は暑い日でしたが、緑の稲が風にそよいでいる様子がさわやかでした。

やがて実りの秋が来て、また田植えの季節がめぐってくる——ここでは四季を、食物の成長の中で感じられます。私たちが大地の恵みとともにあることを教えてくれる、健やかな場所です。



ラヴェール浜田山

●浜田山三丁目
●井の頭通り沿いの集合住宅とレストラン。すっきりとしたデザインは、幹線道路沿道の魅力的な街並み形成の典型ともいえる。レストランの前面に植えられた樹木が快適な歩行者空間を創出し、建物全体の明るい配色とともに、まちに表情を与えている。



東京都太田記念館

●久我山二丁目
たまたま散歩していき着いたとしても、**きっといいなと思える空間を持っていると思います。**

選考委員からのコメント

友部正人 (ミュージシャン)

●神田川沿いの地形や既存の樹木を活かして建てられている。周辺の閑静な住宅地の街並みに調和するよう、棟の配置、色彩など、多くの配慮と工夫が見受けられる。

下井草四丁目の長屋門

●下井草四丁目
庭の木の配列が建物の美しさを引き立てたよい例で、**伝統的なものの美しさと明るさを感じます。**

選考委員からのコメント

ジョージ・ヒューズ (東京女子大学講師)

●よく手入れされた長屋門で、杉並のまちの歴史をあらわした伝統的な建築物である。長い年月の風雪に耐えた佇まいに、古典的な美しさを感じる。



万葉植物園

●下高井戸三丁目 区立向陽中学校

歌ごころを忘れてしまったゆとりのない私たちを、ふとふり返らせてくれる貴重な場所です。

選考委員からのコメント

宗近照実 (ジャーナリスト)

●学校と地域住民の相互協力により、工夫された楽しいみどりの空間を形づくっている。敷地境界沿いの空気を有効に活用し、万葉集に詠まれた植物が集められていて、希少な価値のある品種も含まれている。



第2回
1990年



アメリカン・カントリー・ショップとカントリー・キルト・マーケット

●荻窪五丁目 (現在はありませぬ)

選定理由

●マンションの1階に2件のお店が協調したデザインで並んでいる。店舗だけでなく通りを含めた楽しい空間づくりの意図が感じられる。



善福寺池へ続く桜並木

●善福寺二丁目

ここはとても不思議な空間で、ふつうの住宅地とは違う何かホッとするものがあります。

選考委員からのコメント

鹿野幸子 (女子美術大学教授)

●地域ぐるみで長年にわたり、桜並木を育てている。住民の努力の積み重ねにより、親しみがあり季節感あふれる街並みが形づくられている。



魚鐘

●宮前二丁目

選定理由

●春日神社前周辺のケヤキの木々が昔の街道の面影を残す五日市街道で営まれている鮮魚店。歴史を思い起こさせるたたずまいに、住んでいる方の愛着が感じられる。



天祖神社南側の家と庭

●南荻窪二丁目

選定理由

●天祖神社近くの住宅で、まちのシンボリック存在。門前の大ケヤキと住宅のまわりの生垣が落ち着いた空間を形成している。



つぼみ会

受賞者のコメント

●神田川沿いの花壇に草花を植え、手入れを行ってきました。花壇が離れたところにあるため、草花への水やりや、維持・管理に苦労してきました。表彰していただけてとても嬉しく思います。

選定理由

●神田川沿いの遊歩道に様々な植物を植え、永年にわたり手入れをしている。その活動に会員のまちなみに対する愛情が伝わってくる。



久我山の住宅

●久我山二丁目

選定理由

●久我山の苗ほ越しに見える切妻の屋根が印象的な住宅。現代的なデザインでありながら、生活の温もりがただよっている。

第1回
1989年

ライブタウン浜田山

●浜田山三丁目

選定理由

●昭和50年代初期に建設されたタウンハウス。手入れの行き届いた空間に生活感があり、まちの良さを感じさせる。



珈琲亭 七つ森

●高円寺南二丁目
経営者からのコメント
ここは以前お茶屋さんでした。その頃の建物をそのままに、日本的なものと西歐的なものを取り入れて、店をつくりました。手づくりのメニューで、開店してからずっと変わらずにやっています。まちが少しずつ変わっていくなかで、何かホッとするようなものを感じていただければと思って頑張っています。

選考委員のコメント
友部正人 (ミュージシャン)
●くつつきあっている都会の家々を、一軒ずつ切っていくと、ちょうどこんな具合になるのではないのでしょうか。こんな風にぽつんと建っていると、どこかの草原をすら思い出させます。中をのぞくと、ちょっと入ってみたいようなオアシスです。



天沼の住宅

●天沼二丁目
所有者からのコメント
古くなくても、古くなったなりの味がでる建物かと思いきや、設計の時には外装材などの参考にすため、よくまちを見て歩きました。外回りは、家に越してから時間をかけて、私たちの気に入ったものを探して、少しずつ造ってきました。

選考委員のコメント
鹿野幸子 (女子美術大学教授)
●静かな水路跡の歩道に沿って、アペリアの垣根がやさしく自然ですてきです。門扉もシンプルでおしゃれです。赤い屋根瓦の自転車置場も印象的でした。思わずお訪ねしてみたくするような優しい感じの佇まい。植栽からも住む人の心遣いが伝わってきます。

荻窪の松林

●荻窪二丁目、四丁目
所有者からのコメント
昔はこの松林のあいだから富士山が見えました。また、松林越しのお月見なども素敵です。この良さをいつまでもと思いますが、台風や雪の時には枝が折れたり、冬の枯葉の掃除など、維持管理にとっても苦労しています。

選考委員のコメント
宗近照実 (ジャーナリスト)
●静かで落ち着いた佇まいの住宅が並んでいるこの道にさしかかると、見事に伸びた赤松と樹勢のよい黒松に目を奪われます。高い塀の外からしか見られなくても、眼福を得られる、別天地の趣のある一画です。



西荻の住宅

●西荻北四丁目
所有者からのコメント
大正時代の末に父の建てた家です。私もこの家が大好きで、外観や庭はその頃のイメージをこわさないように手入れをしています。最近、門を造り変えた時も前と同じ形にしています。庭の手入れをしている時など、よく通りがかりの人から声をかけられます。

選考委員のコメント
C.L. コールグローヴ (東京女子大学教授)
●この家の前になると、低い垣根から見える開放的な家と庭が道行くひとに楽しみを与えてくれます。没個性的な高い塀や生垣の道が多い中で、しばしの安らぎや暖かさを感じます。



永福の住宅

●永福二丁目
所有者からのコメント
我が家が面する通り沿いに住む人たちは、道路の清掃やみどりの手入れにとっても気を配っています。また、車の往来の激しい表通りを避けた歩行者がよく使う道でもあります。この通り全体が道行く人たちに「いってらっしゃい」「お帰りなさい」と挨拶をおくる、そんなところなのです。

選考委員のコメント
宗近照実 (ジャーナリスト)
●美しく手入れされているバラの生垣が、道行く人の目を楽ませてくれます。低めの門扉と、玄関横の壁面に施されたガラスモザイクとステンドグラスからも、温かみの感じられる住宅です。

第4回
1993年



久我山の門

●久我山二丁目
周囲の樹木とよく調和した古風な門です。特に紅梅、白梅の咲く時期には、格別の美しさです。

選考委員のコメント
宗近照実 (ジャーナリスト)
●わび、さびを感じさせる風流な門です。ひとつも建物も急速に国際化が進んでいる東京にあって、このような古典的な美しさをもった門を見かけると、えも言われぬ安堵感を覚えます。



天沼の歩道

●天沼三丁目
異なる時期に建てられた四棟の共同住宅が敷地を提供して、交通の激しい一画に歩道を設けました。

選考委員のコメント
友部正人 (ミュージシャン)
●一本の短い歩道が、住民の方たちをひとつにつないでいます。まちに対する関心が高まれば、この歩道がもっと遠くまで延びていくのではないのでしょうか。

上荻の住宅

●上荻四丁目
榎や桜など豊かな緑に囲まれ、周囲のまちなみに配慮した建物です。

選考委員のコメント
C.L. コールグローヴ (東京女子大学教授)
●傾斜のある地形や既存の樹木を巧みに活かした趣のある住宅です。レンガという洋風の素材を用いながら日本的な「渋さ」を表現しています。



第3回
1991年



浴風園

●高井戸西一丁目
老人福祉施設と病院が、良好な環境を守りながら、老人福祉の増進に寄与しています。

選考委員のコメント
宗近照実 (ジャーナリスト)
●起伏のある広い敷地に、十分に余裕をもって、建物が配置されています。豊かな緑とともに作りだすその静かで落ち着いた空間は、都会の喧噪をしばし忘れさせてくれます。

浜田山の赤松群

●浜田山三丁目
樹齢250年を超える赤松群が、まちのシンボリック的存在になっています。また、周囲の生け垣も手入れがいきどき、まちに潤いを与えています。

選考委員のコメント
鹿野幸子 (女子美術大学教授)
●周囲を行き交うひとびとの目を楽しませている、見事な赤松です。これだけの赤松を個人の庭で守り続けるには大変なご苦労がおりだと思いますが、これからも長く大切にしていってほしいと思います。



梅田漬物店

●和泉二丁目

戦前からの建物

所有者からのコメント

●先代の建てたものです。当時は樋なども銅で出来ていましたが、戦時中に鉄や銅を提供したので、現在では雨戸の戸袋が当時の銅のまま残っています。

選考委員からのコメント

大嶋信道 (建築家)

●年月を経た建物は、そのまちなみに何物にも代え難い奥行きと深みを与えてくれます。戦前からのこの建物は、堂々とした外観はもとより、凝った二階の手摺、銅板細工の雨戸袋、屋号が浮き彫りされた軒瓦等、職人達の確かな技が時代を超えて私達の目を楽しませてくれます。



浜田山の門

●浜田山三丁目

船材でつくられた門

所有者からのコメント

●先代が堀切菖蒲園で使われていた門を、この地へ移築しました。私も気に入っており、大切にしています。保存にあたっては周囲の人々に助けられたこともあります。

選考委員からのコメント

C.L. コールグロウヴ

(東京女子大学教授)

●まちは常に変化し続けています。その中であって、この門のように現在も使用されている古い建造物が残されているのは、注目に値すると思います。この門はその威厳を保ちながらも自然体で小道に溶け込んでおり、近づくにつれて船材でつくられたことが分かり驚かされます。



阿佐谷南の住宅

●阿佐谷南二丁目

小広場が出現したような空間

所有者からのコメント

●大切にしてきた樹木を残すように、家も庭もつくりました。ガレージは景観上つくらず庭を開放的にしました。

選考委員からのコメント

塚田由佳 (コピーライター)

●道路から十分奥まったところに門を構え、そのため小広場が出現したような錯覚に陥ります。前を通る人にも豊かな景観を提供し、きっとそのような敷地の使い方を追究されたのでしょう。また、庭の手入れもよく行き届いていて、住んでいる方の美的センスがうかがえます。



阿佐谷北の住宅

●阿佐谷北五丁目四十五番十三号

現在は区立の公園「Aさんの庭」になりました。

懐かしいかおりのする庭

選考委員からのコメント

高倉あつこ (漫画家)

●心地よい懐かしいかおりのする素敵な庭に出会えた、そんな第一印象でした。そしてその庭の中に可愛いサイズで建てられた白い窓枠の洋風な家が、なんとも羨ましいほど贅沢で素敵さに磨きをかけていると思います。バラ満開の季節には是非訪れてみたいです。

Fabian(フェビアン)

●宮前五丁目

みどりと建物との調和

所有者からのコメント

●以前あった樹木をなるべく残すように心がけました。ここはもとは両親の土地で、フェビアンという単語の綴りには両親の頭文字が入っています。

選考委員からのコメント

大嶋信道 (建築家)

●高い塀やフェンスをつくることを避けながら、ゆったりととられたオープンスペースの中、大きく育った木々に囲まれるように建つ集合住宅です。壁面と外溝に用いられた素材感溢れるシックな風合いの煉瓦が、みどりと相まって豊かな環境を創出しています。



桃井の住宅

●桃井一丁目

素材を生かした住宅

所有者からのコメント

●幹線道路付近の住まいだけに素材の組み合わせを工夫してみました。また、空と住まいとの共有空間をつくることもひとつのテーマでした。

選考委員からのコメント

鹿野幸子 (女子美術大学教授)

●コンクリートの打ち放しの壁に思わず触り、みとれてしまいました。入念な仕上げがとても美しい。ライトグレーの壁面と同色のパンチングメタルの門扉から見える玄関の赤いドアが可愛らしくおしゃれです。空間にゆとりを感じる素敵なお住まいです。



第6回
1997年



生け垣の続く道

●井草五丁目

大切にしたい道の雰囲気

所有者からのコメント

●この通りを歩く人々やご近所の評判はなかなかよいようです。年に1・2回程度の刈込みですが、新緑の時期、色づく時期、それぞれを楽しんでいます。害虫の駆除や落ち葉掃きなどの手間はかかりますが、この雰囲気壊さないように、生け垣を残しています。

選考委員からのコメント

高倉あつこ (漫画家)

●ブロック塀に囲まれた道が多い昨今、この生け垣の続く道は、100m余りとはいえ、通る人々をとて爽快な気持ちにさせてくれます。改めてみどりの大切さを知った思いがします。みどりに囲まれた道がもっと増えてほしいと思います。



ビストロ・オチ

●上萩二丁目

手作りへのこだわり

所有者からのコメント

●大正時代、父が故郷の四国から大工さん呼び、武蔵野の自然の中に、自分の想う家を1年かけて建てたものです。とても丈夫にできています。父のロマンにそって、私も芝生や門柱など、自分で作って住んでいます。

選考委員からのコメント

C.L. コールグロウヴ (東京女子大学教授)

●初めて日本を訪れた人は、日本の家がみな塀に囲まれているように感じます。塀は、プライバシーを守る反面、圧迫感を与えます。そのようななか、ビストロ・オチは、つつじの咲く春をはじめ、一年を通じて道ゆく人々を明るい気分させるのです。



上萩の住宅

●上萩二丁目 (現在はありません)

暖炉の明かりの思い出

選考委員からのコメント

大嶋信道 (建築家)

●天然スレートでふかされた重厚な屋根が印象的なこの住宅からは、いぶし銀のような風格と気品が感じられます。建物に合わせてデザインされた門と手入れの行き届いた植栽があいまって、うるおいのある豊かな雰囲気演出しています。



風羅坊(ふうらぼう)

●阿佐谷南三丁目 (現在はありません)

ケヤキ並木との調和

選考委員からのコメント

鹿野幸子 (女子美術大学教授)

●中杉通りを歩いていると、大きな壺にたっぷりと活けられた花に思わず足を止めてしまいます。お店のご主人の心意気が伝わってくるようです。淡くてシンプルな壁面を背に、道ゆく人に語りかけるようなたたずまいです。

南萩窪の住宅

●南萩窪三丁目

残していきたい庭の樹木

所有者からのコメント

●父は、数奇屋造りの家をたいへん気に入っていました。父にもこだわりがあったのでしょうか。この家を建てるときに、大工さんと何度も話し合っていました。庭木は世話がやけますね。いつも手入れのこまやかさばかり考えています。けれど、いつまでも残していきたいと思っています。

選考委員からのコメント

宗近照実 (ジャーナリスト)

●重厚さと軽やかさを併せ持つ、数奇屋風の門が印象的です。高低の差をつけて配置された赤松、つつじ、竹などの植栽に囲まれたお住まいは、端正で風雅な趣があります。



第5回
1995年



萩窪の生垣

●萩窪一丁目

所有者のお話

●柗木と椿の生垣の刈り込みは年1回行っています。最近ハネ虫、茶毒蛾の発生が多く、美観を維持するのに大変苦労しています。歩行者の方から、心の安らぎと潤いを感じるとの感謝の言葉をしばしばいただくことが励みになります。これからも微力ですが保全に努力していくつもりです。

選考委員

大嶋信道 (建築家)

●善福寺川からほど近く、少し高台になった場所に位置するお屋敷のまわりは、整然と刈り込まれた柗木と椿の生垣で囲われています。総延長300メートル以上にも及ぶ生垣は、大きなケヤキをはじめとする屋敷内の高木ともども、丹精込めて手入れされています。門へのアプローチの石畳の上品なしつらえと相まって、素晴らしい景観をかたちづいています。



パラシオデヒロ

●高円寺北三丁目

所有者のお話

●植栽された中庭を持ったアパートメントです。設計家の提案もあり、土壁、木、古レンガ等自然素材で仕上げられ、やっと気に入ったアパートに巡り合えたという入居者もおります。道路よりオープンにした為、花を取られたこともありました。道行く人に少しでも楽しんでもらえる様、季節ごとの花を家族で楽しみながら植えています。

選考委員

塚田由佳 (コピーライター)

●実際に建物の前に行ってみると、門構えは小さいのですが、奥行きが広く、一見してパリのアパートメントを連想させるつくりになっています。風合いのある煉瓦の外壁は、よく見ると不揃いなどところがあり、一層味があります。小さなスペースながらも、アイビーで囲まれた中庭を設けているところも素敵です。通りに面した植え込みは丁寧に手入れされている感じがして、道行く人に一時の異国情緒を提示しているように思いました。



ギャラリー寿庵

●西荻北四丁目

所有者のお話

●4件長屋を切り離し、間口27m.奥行き12m弱に地下一階・地下三階の建物。敷地面積は9坪ちょっと。一階はギャラリー。地下は倉庫と2畳中板の小間の茶室。2階リビングには鉄製の暖炉。男の夢のようやくの実現。着工してから、1年と3ヶ月余りが過ぎていました。

選考委員

高倉あつこ (漫画家)

●西荻は、小さな名店が多いとよく耳にしますが、こちらのギャラリーも、そのひとつだと思います。今回、店内は残念ながら拝見致しませんでした。店の外はほんの小さな土のスペースを自然と戯れるチャンスを逃すことなく有効利用され、優しい和の雰囲気を醸出されているところが素敵でした。その心配りから、店内もきっと素敵な空間が造られているのだらうと思えます。またひとつ、訪れたい場所が増えました。

南荻窪の住宅

●南荻窪二丁目

所有者のお話

●祖父が大正13年に建てました。30年前、「俺たちの旅」の撮影で使われていました。庭の手入れ、税金が大変で、敷地の一部を売って建て直そうかと思いましたが、最近、広がった敷地が徐々に細切れになっていくのを見て、杉並のまちなみから緑が消えていくのは寂しいと子供たちからも言われ、できるだけのこして行きたいと考え直しました。

選考委員

宮本瑞夫 (立教女学院短期大学教授)

●JRの荻窪駅西口から、「すずらん通り」を抜け、環八通りを超えた閑静な住宅街の中で、一際目を引く昭和モダンを感じさせる平屋建て。関東大震災後の、大正末年から昭和初年に掛けて、急速に住宅地化が進んだ、東京郊外の杉並を象徴する建物です。南欧風を感じさせる赤い屋根と白い壁と、手入れの行き届いた緑の生垣の取り合わせも絶妙です。



阿佐谷南の一本の木

●阿佐谷南一丁目

所有者のお話

●父から、この樺(ケヤキ)は当家の御神木であるから大切に扱うようにと言い伝えられました。平成9年の駐車場工事の時に色々考え、何とか美観が良くなるようにと苦心の末、現在の形になりました。これからも一生末代まで大事に管理していこうと思っています。

選考委員

津田裕子 (女子美術大学教授)

●「この大きな一本の木」が、小さかった時はこのあたりは、どんなだったんだろうかと想像をめぐらせずにはいらなかった。今では根を張り、枝が手を広げている様にこの街をあたたく包んで、見守ってくれている。遠くの人、近くの人に元気を与えながら……。これだけの大木の手入れは大変な事でしょう。そして、良くぞ残しておいてくれたと、持ち主の方に感謝せずにはいられませんでした。



松庵の民家

●松庵二丁目 (現在はありません)

選考委員からのコメント

大嶋信道 (建築家)

●五日市街道に面した出桁造の建物で、太い梁や柱などの木組には、歴史と風格が感じられます。2階の雨戸の戸袋は樺の一枚板で、美しい木目を見せ、黒い漆喰の壁と瓦屋根が、重厚さを醸し出しています。ビルやマンションが多い街道沿いに、大切に維持され、落ち着いたたたずまいをみせるこの建物があることで、まちなみに潤いと安らぎを与えています。



南荻窪の住宅

●南荻窪三丁目

所有者からのコメント

●昭和12年に建てられたものです。丸窓、ステンドグラスの上げ下げ窓、暖炉の煙突など、特徴的で気に入っています。当時のままをなるべく残そうと、手入れには気をつけています。

選考委員からのコメント

C.L. コールグロウヴ

(東京女子大学名誉教授)

●最近では誰でも街を歩いていると、日本と西欧の伝統や趣味が組み合わせられた家々をしばしばみかける。このすばらしく美しい住宅は、両者の伝統の融合を見事に果たしている。街路に面した植栽は日本風で、門からのぞくと庭園へ通じる京都風で閑静なたたずまいのもう一つの木製の門が見える。住宅の白壁と黒の対比、そして屋根の線は伝統的な日本風である。だがそれと同時に垂直にのびるかたちは西欧の影響を示唆している。そしてもちろんステンドグラスの窓や、あちこちにのぞくレンガがアクセントになった白い煙突も。

井の頭線の緑化

●高井戸西一丁目 ほか

所有者からのコメント

●10年程前から法面保護のため、「グリーン作戦」を計画し、職員が中心となってアジサイ、ツツジ、サツキなどを植え始めました。花の時期にお客様や地域の方々に喜んでいただけるよう、これからも努力していきたいと思えます。

選考委員からのコメント

津田裕子 (女子美術短期大学教授)

●井の頭線の線路わきに、ツツジやサツキ、アジサイの咲く頃、通勤通学ラッシュに苦勞する人たちも、車中立ちていることが楽しみになり、心がうきうきします。車窓を彩る花や木が元気をくれるからです。毎年その時期を秘かに心待ちしている人は沢山いることでしょう。実は私もその一人なのです。



五日市街道の生垣

●西荻南一丁目

所有者からのコメント

●生垣や庭木の手入れは、自分自身でやっています。この辺りも様変わりして、街道に面して生垣をする家も少なくなりました。この生垣が、少しでも通りを歩く人々の心を和ませることができれば、うれしく思います。

選考委員からのコメント

高倉あつこ (漫画家)

●まず一言、圧巻でした。そして、生垣だけにとどまらず、その奥に大きく広がるよく手入れされたたくさんの緑の空間に、ただただ茫然と見とれてしまいました。先が見えないくらい深い緑の合間から、どこか別の場所へ連れていってやらえそうな不思議な気持ちにさせていただきました。



善福寺の住宅

●善福寺一丁目

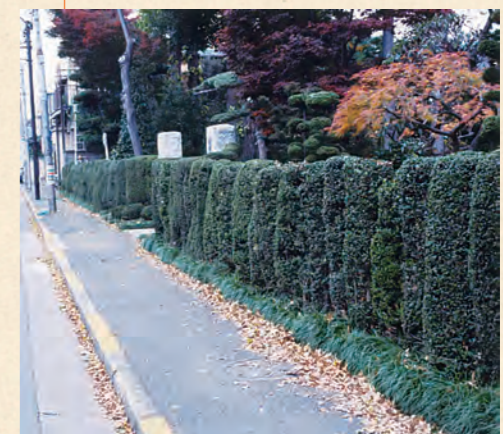
所有者からのコメント

●阪神・淡路大震災の年にプリラを植えました。一年中緑色をしております。そこで足元に折々の草花を植えて季節感を出しております。小さな家です。塀や柵をさけて開放的にしました。

選考委員からのコメント

塚田由佳 (コピーライター)

●都会で緑を取り入れるなら、というお手本のような家でした。けっして派手な造りではありませんが、一見して、丁寧に住まれているということがわかる家です。面で構成された玄関スペースの緑は独創的で、木々の手入れや、その緑の面を引き立たせるための白い壁、また小窓のひとつにも細やかな気配りがされていて、感服しました。



— 選考会を終えて —



有吉玉青 (作家)
Ariyoshi Tamao

杉並区にこんなところがあったのか、こんなところがあったのか——今回もさまざまな驚きと発見がありました。古き時代の面影を大切にしつつ、新しい試みもなされてゆく、素敵な「まち」がここに 있습니다。



大倉素子 (カラーコーディネーター、杉並区まちづくり景観審議会委員)
Ohkura Motoko

「住宅都市杉並」の名に相応しく、歴史ある住宅が愛着を持って丁寧に住み続けられている様に感銘を受けました。住宅と共に植栽を綺麗に保ち続ける努力の積み重ねが、街並や景観の美しさを醸成してくれることを改めて感じました。



大嶋信道 (建築家)
Ohshima Nobumichi

今回の応募作には、緑を上手に取り入れているものが多くありました。大きな面積の庭木をきれいに維持するための所有者の方の労力と情熱には、頭が下がる思いです。また、小さなスペースに植え込みやプランターなどを効果的に配したものにも、作り手たちのセンスが感じられました。



河野進 (建築家、杉並区まちづくり景観審議会委員)
Kohno Susumu

魅力的な「まち」というのは、その「まち」にある建物や樹木や人々の生活が、通りがかりの人に挨拶をします。自分の建物や敷地だけに気を使って、「まち」にそっぽを向いたものは、どんなにお金をかけた立派なものでも、よそよそしくて退屈です。大胆な振る舞いや控えめな表情など挨拶の仕方は色々ですが、「まち」に向けた楽しいしつらえや、さりげない試みが「まち」を魅力的にします。今回デザイン賞に選ばれた建物や緑や多彩な活動は、所有者や地域の人々の心配りが我々の気持ちを掴んだのだと思います。この賞がきっかけになって、そんな想いが更に周りの「まち」に広がって行く事を願っています。



津田裕子 (女子美術大学芸術学部教授)
Tsuda Hiroko

昔なつかしい建物や緑の生垣が現存し、皆さんが大切に住んでいる事に感動しました。新しい建築も、そこに住む人達の心豊かな佇まいを感じ、杉並らしさに出会えた事も嬉しいことでした。

南荻窪・昭和の家

●南荻窪一丁目

所有者のお話

●私は古い木の温かみのする家が大好きで、つい壊すのが寂しくてこんなに古くなってしまいました。住むには、不便で不経済でお掃除も大変で、手がかかります。全くもって現実的ではありません。でも、私はこの家を心からいとおしく思っています。私よりちょっとばかり年上のこの家を、生涯いたわって住み続けたいと思っています。

選考委員

大嶋信道 (建築家)

●切妻屋根の洋館としっかりとした雰囲気のある和館は、道路からセットバックして配置され、大谷石の塀と、きれいに手入れされた植木が、郊外住宅地として発展した昭和の杉並の町並の面影を今に伝えています。洋館の窓の欄間部分には、水面を優雅に泳ぐ白鳥をあしらったステンドグラスがあり、道行く人の目を楽しませてくれています。



久我山の櫛並木

●久我山四丁目

所有者のお話

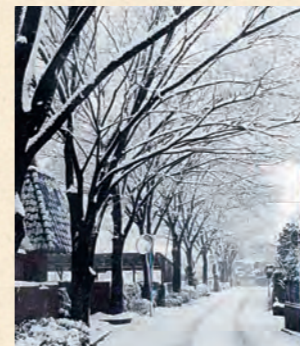
●昭和52年に久我山駅前商店街から北へ歩いた高台に植樹し、四季の変化を彩ってきました。常に静かな風が流れ、真夏の温度は周辺に比べ、低くなっているおかげで、ほっと一息しているお年寄りが目につきます。多くの人が一日に一度は歩いてみたいと言い、また、ある人は、ここを通ると「気」が入ると言います。落ち葉の時期には近隣の皆さんが気持ちよく協力頂き、うれしく思います。これからも櫛の自然形を如何に守るかが今後の課題です。



選考委員

津田裕子 (女子美術大学教授)

●井の頭線の久我山駅を背に、踏切の音を耳にしながら坂道を登り切ると、静かな気持ち良い櫛並木があります。夏には優しい木陰や秋には木立から金色に輝く夕日が望め、四季折々の姿は皆を楽ませてくれます。道を挟んだお宅が植樹されたそうですが、手入れの行き届いた垣根や石組みのセンスの良さを見ても、空間を共有する心づかいが感じ取れます。



第9回
2006年

茶・いぐさ

●上井草二丁目

所有者のお話

●この建物も、店も、植栽も、上井草のまちづくりへの個人的な思いから生まれたものです。見ず知らずの方々からのご推薦があったので受賞と聞きました。これ以上うれしいことはありません。各御家庭が塀をめぐらすことをやめて、道路沿いにやわらかな雑木を植えることによって、上井草が季節感あふれる美しい散歩道のまちになることを目差しています。どうかお力添えください。

選考委員

塚田由佳 (コピーライター)

●ここは、GENROという、喫茶店兼、ご主人の製作する和雑貨のアトリエ。店内から外を見ると、敷地のわずかな隙間に植えた雑木が、避暑地にいるかのような緑の奥行きを生んでいます。ご主人は、近所の商店街にも雑木を増やすよう働きかけているとのこと。こういう家が増えると、コンクリートの街並みにも潤いが生まれるだろうと思いました。

選考委員

宮本瑞夫 (立教女学院短期大学教授)

●西武新宿線・上井草駅の商店街の外れに、「上井草の喫茶店」(GENRO)があります。ドームのような、小山のようなお洒落な建物が、柔らかい株立ちの細い樹木で、林のように覆われています。店内の小窓を通して眺めると、まるで雑木林の中にあるような錯覚を味わえるのがうれしいです。オーナーの提唱される、株立ちの雑木林に溢れる街づくりに大いに共鳴しました。



善福寺・京風の家

●善福寺二丁目

所有者のお話

●設計の原田順氏は、村野藤吾氏(文化勲章受章者、日生劇場、新高輪プリンスホテルを手がけた)に師事。この家は、住みやすさ、美しさを基本としています。中庭を利用して、表通りから、2階の居住部分が見えないよう、プライバシーが考慮されています。2階の柱を1階とずらして、桂離宮風に柱をみせたり、たたきでは、那智黒石を修学院離宮風にはめこんだりと、さまざまな遊びもあります。武蔵野一隅の京風の家です。

選考委員

有吉玉青 (作家)

●純粋な日本家屋、屋根のついた木戸の門、瓦ののった塀、さらには櫓でしようか。よき時代を伝える趣です。庭木の手入れをよくされていらっしゃることも印象的でした。維持管理はさぞかしたいへんなことと拝察しますが、いつまでも町のおこがれの存在であり続けていただきたいと思っています。



第6回 (1997年) 寄り道したくなるまちなみありませんか

【募集期間】1997.7.1～7.31 【応募・推薦件数】77件

阿佐谷南の住宅（阿佐谷南二丁目）
 浜田山の門（浜田山三丁目）
 梅田漬物店（和泉二丁目）
 阿佐谷北の住宅（阿佐谷北五丁目 現 区立「Aさんの庭」）
 Fabian（宮前五丁目）
 桃井の住宅（桃井一丁目）

【選考委員】大嶋信道、鹿野幸子、C.L. コールグローヴ、高倉あつこ、塚田由佳



第7回 (1999年・2000年) おしえてくださいやすらぐまちかど

【募集期間】1999.8.1～2000.5.31 【応募・推薦件数】58件

善福寺の住宅（善福寺一丁目）
 南荻窪の住宅（南荻窪三丁目）
 五日市街道の生垣（西荻南一丁目）
 松庵の民家（松庵二丁目）
 井の頭線の緑化（高井戸西一丁目 ほか）

【選考委員】大嶋信道、C.L. コールグローヴ、高倉あつこ、塚田由佳、津田裕子



第8回 (2003年) 大好きな「まち」だからみんなに教えたい

【募集期間】2002.4.1～2003.5.31 【応募・推薦件数】61件

南荻窪の住宅（南荻窪二丁目）
 阿佐谷南の一本の木（阿佐谷南一丁目）
 パラシオデヒロ（高円寺北三丁目）
 荻窪の生垣（荻窪一丁目）
 ギャラリー寿庵（西荻北四丁目）

【選考委員】大嶋信道、高倉あつこ、塚田由佳、津田裕子、宮本瑞夫



第9回 (2006年) 素敵にがんばってる「まち」に拍手！！

【募集期間】2005.4.1～2006.5.31 【応募・推薦件数】20件

茶・いぐさ（上井草二丁目）
 善福寺・京風の家（善福寺二丁目）
 久我山の欒並木（久我山四丁目）
 南荻窪・昭和の家（南荻窪一丁目）

【選考委員】有吉玉青、大嶋信道、塚田由佳、津田裕子、宮本瑞夫



第10回 (2010年) ドキッ！！発見まちの「顔」

【募集期間】2009.10.21～2010.6.10 【応募・推薦件数】17件

柏の宮公園の田んぼ（区立柏の宮公園内）
 浜田山の家（浜田山三丁目）
 西郊ロッジ（荻窪三丁目）
 洋館&ヒマラヤ杉（松庵三丁目）
 メール・ド・ラベユ（天沼三丁目）

【選考委員】有吉玉青、大倉素子、大嶋信道、河野進、津田裕子



第1回 (1989年) すてきな「まち」

【募集期間】1989.10.5～11.10 【応募・推薦件数】62件

久我山の住宅（久我山二丁目）
 天祖神社南側の家と庭（南荻窪二丁目）
 ライブタウン浜田山（浜田山三丁目）
 魚鐘（宮前二丁目）
 AMERICAN COUNTRY SHOP と COUNTRY QUILT MARKET（荻窪五丁目）
 つぼみ会（高井戸東一丁目）

【選考委員】大谷幸夫、鹿野幸子、C.L. コールグローヴ、友部正人、宗近照実



第2回 (1990年) めくもり・愛着

【募集期間】1990.11.1～11.15 【応募・推薦件数】60件

ラヴェール浜田山（浜田山三丁目）
 下井草四丁目の長屋門（下井草四丁目）
 善福寺池へ続く桜並木（善福寺二丁目）
 万葉植物園（下高井戸三丁目）
 東京都太田記念館（久我山二丁目）

【選考委員】鹿野幸子、友部正人、ジョージ・ヒューズ、宗近照実



第3回 (1991年) まちのころづかいが感じられる場所です

【募集期間】1991.10.5～11.5 【応募・推薦件数】39件

上荻の住宅（上荻四丁目）
 浴風園（高井戸西一丁目）
 天沼の歩道（天沼三丁目）
 久我山の門（久我山二丁目）
 浜田山の赤松群（浜田山三丁目）

【選考委員】鹿野幸子、C.L. コールグローヴ、友部正人、宗近照実



第4回 (1993年) すてきなまちかど推薦してください

【募集期間】1993.9.11～10.12 【応募・推薦件数】58件

天沼の住宅（天沼二丁目）
 永福の住宅（永福二丁目）
 西荻の住宅（西荻北四丁目）
 珈琲亭七つ森（高円寺南二丁目）
 荻窪の松林（荻窪二丁目、荻窪四丁目）

【選考委員】鹿野幸子、C.L. コールグローヴ、友部正人、宗近照実



第5回 (1995年) すてきなまちかどさがしています

【募集期間】1995.7.1～7.31 【応募・推薦件数】81件

南荻窪の住宅（南荻窪三丁目）
 風羅坊（阿佐谷南三丁目）
 ビストロ・オチ（上荻二丁目）
 上荻の住宅（上荻二丁目）
 生け垣の続く道（井草五丁目）

【選考委員】大嶋信道、鹿野幸子、C.L. コールグローヴ、高倉あつこ、宗近照実



杉並「まち」デザイン賞 登録印刷物番号 22-0065
平成 22 年 11 月発行
編集・発行 杉並区都市整備部 まちづくり推進課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL.03-3312-2111 (代)

★杉並区のホームページでご覧になれます。
<http://www.city.suginami.tokyo.jp>